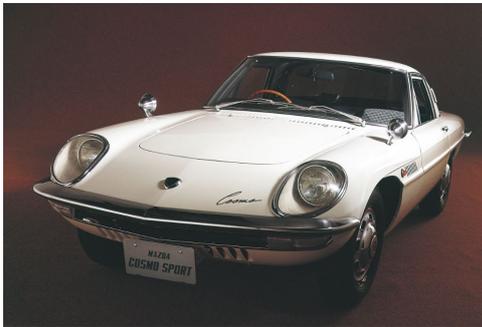




2023年10月30日

マツダ、ロータリーエンジン搭載車の累計生産 200 万台を達成

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、ロータリーエンジン搭載車の累計生産台数が 200 万台*1に達したことを本日発表しました。



マツダ コスモスポーツ



e-SKYACTIV R-EV のローター

ロータリーエンジン(以下、RE)は、三角形のローターが回転することによって動力を生む独自の構造をもつエンジンで、マツダは 1967 年に導入した「コスモスポーツ」に RE を初めて搭載。その後も長年にわたり RE を量産する唯一の自動車メーカーとして、出力、燃費、耐久性などの性能向上に取り組んできました。マツダは今年 6 月に、「MAZDA RX-8」の生産を 2012 年に終了して以来約 11 年ぶりに、RE 搭載車の量産を再開し、このたび、12 車種目の RE 搭載車種として「MAZDA MX-30 Rotary-EV」をまもなく導入します。

今回の 200 万台達成を受けて、取締役専務執行役員の向井 武司(むかい たけし)は次のように述べています。

「マツダの歴史において、『飽くなき挑戦』を象徴する特別な存在であり、世界中のお客さまに愛されてきた RE の生産に再び大きな火が灯りました。RE 搭載車をご購入いただいた多くのお客さまやファンの方々、開発・生産に携わっていただいたお取引先さまなど、これまで支えていただいたすべての皆さまに心から感謝申し上げます。今後も、『飽くなき挑戦』の精神を受け継ぎ、電動化の時代においてもお客さまにワクワクしていただけるような魅力的なクルマをお届けしてまいります」

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしていくことを目指してまいります。

マツダ:ロータリーエンジンの沿革

- 1961年7月 NSU社/バンケル社と技術提携
- 1967年5月 ロータリーエンジン完成発表、「コスモスポーツ」発売
- 1968年7月 「ファミリア ロータリークーペ」発売
- 1969年10月 「ルーチェ ロータリークーペ」発売
- 1970年5月 初代「カペラ」ロータリーシリーズ発売
- 1971年9月 「サバンナ」発売
- 1972年11月 2代目「ルーチェ」ロータリーシリーズ発売
- 1973年6月 ロータリーエンジン車生産累計 50万台達成
- 1974年2月 2代目「カペラ」発売
- 1974年4月 「ロータリーピックアップ」を北米で発売(日本名:プロシード)
- 1974年7月 「パークウェイ ロータリー-26」発売
- 1975年4月 「ロードペーサー」発売
- 1975年10月 2代目「コスモ(コスモ AP)」発売
- 1977年10月 3代目「ルーチェ(ルーチェレガート)」発売
- 1978年3月 初代「サバンナ RX-7」発売
- 1978年11月 ロータリーエンジン車生産累計 100万台達成
- 1981年11月 3代目「コスモ」および 4代目「ルーチェ」のロータリーシリーズ発売
- 1985年10月 2代目「サバンナ RX-7」発売
- 1986年4月 ロータリーエンジン車生産累計 150万台達成
- 1986年9月 5代目「ルーチェ」発売
- 1990年4月 4代目「コスモ(ユーノスコスモ)」発売、3ローターRE搭載
- 1991年6月 「マツダ 787B」が第59回ルマン 24時間レースで総合優勝
- 1991年12月 3代目「RX-7(アンフィニ RX-7)」発売
- 2002年4月 「RX-7」最後の限定車「スピリット R」シリーズを発売
- 2003年4月 「RX-8」発売
- 2011年11月 「RX-8」最後の特別仕様車「スピリット R」を発売
- 2012年6月 「RX-8」生産終了
- 2023年6月 「MAZDA MX-30 Rotary-EV」生産開始
- 2023年10月 ロータリーエンジン搭載車累計生産 200万台達成

以上

*1 累計生産台数は自社調べ